

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149547号
(U3149547)

(45) 発行日 平成21年4月2日(2009.4.2)

(24) 登録日 平成21年3月11日(2009.3.11)

(51) Int.Cl.

F 1

B 6 2 B 13/18 (2006.01)

B 6 2 B 13/18

B 6 2 B 3/02 (2006.01)

B 6 2 B 3/02

E

評価書の請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2009-207 (U2009-207)
(22) 出願日 平成21年1月19日(2009.1.19)(73) 実用新案権者 509019185
奥田 隆重
北海道札幌市白石区北郷4条11丁目20-16
(74) 代理人 100095267
弁理士 小島 高城郎
(74) 代理人 100069176
弁理士 川成 靖夫
(74) 代理人 100124176
弁理士 河合 典子
(74) 代理人 100108051
弁理士 小林 生央
(72) 考案者 奥田 隆重
北海道札幌市白石区北郷4条11丁目20-16

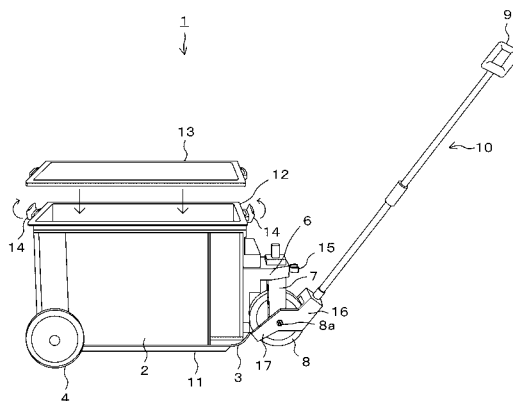
(54) 【考案の名称】 ソリ又はスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー

(57) 【要約】

【課題】雪道や、雪の積もっていない道路、屋内外通路等をいずれも円滑に走行できるソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供する。

【解決手段】買物を収納できる箱体2と、箱体2の底面に設けられたソリ3と、箱体2の後部左右底部に設けた左右後輪4、4と、箱体2の前面に突出させた突出部6に下方向に延びて回転自在に設けた回転体7と、回転体7の下部に回転自在に設けた前輪8と、基端部が前輪8の回転軸8aに揺動自在に軸支され、先端部に把手9が設けられた、箱体2を牽引するための牽引棒10とを備えたソリを用いた車輪付きショッピングカー1を提供する。前記牽引棒10の基端部に、回転軸8aの両端部に揺動自在に軸支される支持棒16が設けられ、支持棒16は回転軸8aから更に前輪8の外周部を超えて延設された下端部17が形成され、下端部17がストッパー機能を発揮するように構成されている。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体の底面に設けたソリと、前記箱体の後部左右底部に設けた左右後輪と、前記箱体の前部底部に設けた前輪と、前記箱体を牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするソリを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 2】

内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体の底面に設けたソリと、前記箱体の後部左右底部に設けた左右後輪と、前記箱体の前部に前方に突出させた突出部と、前記突出部に下方向に延びて回転自在に設けた回転体と、前記回転体の下部に回転自在に設けた前輪と、基端部が前記前輪の回転軸に揺動自在に軸支され、先端部に把手が設けられた、前記箱体を牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするソリを用いた車輪付きショッピングカー。

10

【請求項 3】

前記ソリの底面には、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のソリを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 4】

前記箱体は上部に開口部を備え、前記開口部に前記開口部を開閉自在の蓋体が設けられることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 5】

前記突出部又は前記回転体の前部に前記牽引棒に係止する係止体が設けられ、前記牽引棒は、前記係止体に係止することにより保持されるように構成されていることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカー。

20

【請求項 6】

前記牽引棒の基端部に、前記前輪の回転軸の両端部に揺動自在に軸支される支持棒が設けられ、前記支持棒は、前記前輪の回転軸から更に前輪の外周部を超えて延設された下端部が形成され、前記牽引棒が前記係止体に係止されて保持される時、前記下端部が前記前輪の下に入り前記前輪を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカー。

30

【請求項 7】

内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体を載置自在のスノーボードと、前記スノーボードの後部左右底部に設けた左右後輪と、前記スノーボードの前部底部に設けた前輪と、前記スノーボードを牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 8】

内部に買物を収納できる箱体を載置自在のスノーボードと、前記スノーボードの後部左右底部に設けた左右後輪と、前記スノーボードの前部鐔状突出部に下方向に延びて回転自在に設けた回転体と、前記回転体の下部に回転自在に設けた前輪と、基端部が前記前輪の回転軸に揺動自在に軸支され、先端部に把手が設けられた、前記スノーボードを牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

40

【請求項 9】

前記スノーボードの底面には、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条が形成されていることを特徴とする請求項 7 又は 8 記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 10】

前記箱体は上部に開口部を備え、前記開口部に前記開口部を開閉自在の蓋体が設けられることを特徴とする請求項 7 乃至 9 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

50

【請求項 1 1】

前記鐳状突出部又は前記回転体の前部に前記牽引棒を係止する係止体が設けられ、前記牽引棒は、前記係止体に係止することにより保持されるように構成されていることを特徴とする請求項 8 乃至 10 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

【請求項 1 2】

前記牽引棒の基端部に、前記前輪の回転軸の両端部に軸支される支持枠が設けられ、前記支持枠は、前記前輪の回転軸から更に前輪の外周部を超えて下端部が形成され、前記牽引棒が前記係止体に係止されて保持される時、前記下端部が前記前輪の下に入り前記前輪を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されたことを特徴とする請求項 7 乃至 11 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカー。

10

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、積雪時のショッピングに於ける牽引を容易にしたソリ又はスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

冬期の積雪時のショッピングに於いて、従来のショッピングカーは、雪道に出た時、車輪が雪道にのめり込み、不安定になり、或いは重くて牽引できないという問題があった。

20

また、ショッピングカーの代わりにスノーボードを用いると、スノーボードは、雪道は円滑に牽引できるが、雪が積もっていない道路或いは屋内外通路等に於いて重くて牽引できないという問題があった。

そこで、冬期の積雪時、特に、雪国に於ける冬期間ショッピングに於いては、ショッピングカーを使えないことから、例えば、リュックサックを使用してショッピングをしている例が多く見られる。

【0003】

尚、関連する先行文献としては、例えば、特許文献 1 があり、特許文献 1 は、ショッピングカーではないが、底部に二輪車と共に新たに櫓を併設したショッピングカートが記載されている。

30

又、ショッピングカーではなく、雪道を走行するためのものではないが、特許文献 2 には、ソリ付き車輪のついた乳母車が記載されている。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0004】**

【特許文献 1】特開 2006 - 160232 号公報

【特許文献 2】特開 2002 - 87275 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0005】**

40

前述したように、従来のショッピングカーは、雪道に出た時、車輪が雪道にのめり込み、不安定になり、或いは重くて牽引できないという問題があった。

また、スノーボードは、雪道は円滑に牽引できるが、雪が積もっていない道路或いは屋内外通路等は重くて牽引できないという問題があった。

そこで、それらの問題を併せて解決することが望まれている。

【0006】

以上の現状に鑑み、本考案は、雪道や、雪の積もっていない道路、屋内外通路等をいずれも円滑に走行できるソリ又はスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

50

【 0 0 0 7 】

上記の課題を解決すべく、本考案は以下の構成を提供する。

請求項 1 に係る考案は、内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体の底面に設けたソリと、前記箱体の後部左右底部に設けた左右後輪と、前記箱体の前部底部に設けた前輪と、前記箱体を牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【 0 0 0 8 】

請求項 2 に係る考案は、内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体の底面に設けたソリと、前記箱体の後部左右底部に設けた左右後輪と、前記箱体の前部に前方に突出させた突出部と、前記突出部に下方向に延びて回転自在に設けた回転体と、前記回転体の下部に回転自在に設けた前輪と、基端部が前記前輪の回転軸に揺動自在に軸支され、先端部に把手が設けられた、前記箱体を牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

10

【 0 0 0 9 】

請求項 3 に係る考案は、前記ソリの底面には、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条が設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【 0 0 1 0 】

請求項 4 に係る考案は、前記箱体は上部に開口部を備え、前記開口部に前記開口部を開閉自在の蓋体が設けられることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

20

【 0 0 1 1 】

請求項 5 に係る考案は、前記突出部又は前記回転体の前部に前記牽引棒に係止する係止体が設けられ、前記牽引棒は、前記係止体に係止することにより保持されるように構成されていることを特徴とする請求項 2 乃至 4 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【 0 0 1 2 】

請求項 6 に係る考案は、前記牽引棒の基端部に、前記前輪の回転軸の両端部に揺動自在に軸支される支持棒が設けられ、前記支持棒は、前記前輪の回転軸から更に前輪の外周部を超えて延設された下端部が形成され、前記牽引棒が前記係止体に係止されて保持される時、前記下端部が前記前輪の下に入り前記前輪を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されたことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のうちいずれかに記載のソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

30

【 0 0 1 3 】

請求項 7 に係る考案は、内部に買物を収納できる箱体と、前記箱体を載置自在のスノーポートと、前記スノーポートの後部左右底部に設けた左右後輪と、前記スノーポートの前部底部に設けた前輪と、前記スノーポートを牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするスノーポートを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【 0 0 1 4 】

請求項 8 に係る考案は、内部に買物を収納できる箱体を載置自在のスノーポートと、前記スノーポートの後部左右底部に設けた左右後輪と、前記スノーポートの前部鉤状突出部に下方向に延びて回転自在に設けた回転体と、前記回転体の下部に回転自在に設けた前輪と、基端部が前記前輪の回転軸に揺動自在に軸支され、先端部に把手が設けられた、前記スノーポートを牽引するための牽引棒とを備えたことを特徴とするスノーポートを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

40

【 0 0 1 5 】

請求項 9 に係る考案は、前記スノーポートの底面には、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条が形成されていることを特徴とする請求項 7 又は 8 記載のスノーポートを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【 0 0 1 6 】

50

請求項 10 に係る考案は、前記箱体は上部に開口部を備え、前記開口部に前記開口部を開閉自在の蓋体が設けられることを特徴とする請求項 7 乃至 9 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【0017】

請求項 11 に係る考案は、前記鐳状突出部又は前記回転体の前部に前記牽引棒に係止する係止体が設けられ、前記牽引棒は、前記係止体に係止することにより保持されるように構成されていることを特徴とする請求項 8 乃至 10 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【0018】

請求項 12 に係る考案は、前記牽引棒の基端部に、前記前輪の回転軸の両端部に軸支される支持棒が設けられ、前記支持棒は、前記前輪の回転軸から更に前輪の外周部を超えて下端部が形成され、前記牽引棒が前記係止体に係止されて保持される時、前記下端部が前記前輪の下に入り前記前輪を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されたことを特徴とする請求項 7 乃至 11 のうちいずれかに記載のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを提供するものである。

【考案の効果】

【0019】

本考案の請求項 1 記載の考案によれば、雪道や、雪の積もっていない道路、屋内外通路等をいずれも円滑に走行できるソリを用いた車輪付きショッピングカーを提供することができる。

【0020】

請求項 2 記載の考案によれば、請求項 1 記載の考案と同様の効果が期待できる。

【0021】

請求項 3 記載の考案によれば、請求項 1 又は 2 記載の考案の効果に加え、横滑り防止用突条によって、ソリの横滑りを防止し、直進走行が円滑に行なえる。

【0022】

請求項 4 記載の考案によれば、請求項 1 乃至 3 のうちいずれかに記載の考案の効果に加え、箱体を蓋体によって閉じることができ、買物の落下や、飛散、又は、盗難等を防止できる。

【0023】

請求項 5 記載の考案によれば、請求項 2 乃至 4 のうちいずれかに記載の考案の効果に加え、牽引棒に係止体に保持させてコンパクトに収納することができる。

【0024】

請求項 6 記載の考案によれば、請求項 1 乃至 5 のうちいずれかに記載の考案の効果に加え、下端部によりショッピングカーを停止状態に維持できる。

【0025】

請求項 7 記載の考案によれば、雪道や、雪の積もっていない道路、屋内外通路等をいずれも円滑に走行できるスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを提供することができる。

【0026】

請求項 8 記載の考案によれば、請求項 7 記載の考案と同様な効果が期待できる。

【0027】

請求項 9 記載の考案によれば、請求項 7 又は 8 記載の考案の効果に加え、横滑り防止用突条によって、スノーボードの横滑りを防止し、直進走行が円滑に行なえる。

【0028】

請求項 10 記載の考案によれば、請求項 7 乃至 9 のうちいずれかに記載の考案の効果に加え、箱体を蓋体によって、閉じることができ、買物の落下や、飛散、又は、盗難等を防止できる。

【0029】

請求項 11 記載の考案によれば、請求項 8 乃至 10 のうちいずれかに記載の考案の効

10

20

30

40

50

果に加え、牽引棒を係止体に保持させてコンパクトに収納することができる。

【 0 0 3 0 】

請求項 1 2 記載の考案によれば、請求項 7 乃至 1 1 のうちいずれか一に記載の考案の効果に加え、下端部によりショッピングカーを停止状態に維持できる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 3 1 】

【 図 1 】本考案によるソリを用いた車輪付きショッピングカーの斜視図である。

【 図 2 】本考案によるソリを用いた車輪付きショッピングカーの底面側から見た一部斜視図である。

【 図 3 】本考案によるソリを用いた車輪付きショッピングカーに於いて、牽引棒を起立させてショッピングカーを停止させた状態を示す斜視図である。

【 図 4 】本考案によるスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーの斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 3 2 】

以下、実施例を示した図面を参照しつつ本考案の実施の形態を説明する。

【 実施例 1 】

【 0 0 3 3 】

図 1 に於いて、1 は、本考案のソリを用いた車輪付きショッピングカーを示し、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 は、内部に買物を収納できる例えば上端開放の有底角筒状箱体 2 と、箱体 2 の底面全面及び箱体 2 の底面前方に前部が湾曲して設けられた例えばステンレス等の金属板から成るソリ 3 と、箱体 2 の後部左右底部に回転自在に設けた左右後輪 4 , 4 と、箱体 2 の前部に前方に突出させた突出部 6 と、突出部 6 に下方向に延びて回転自在に設けた回転体 7 と、回転体 7 の下部に回転自在に設けた前輪 8 と、基端部が前輪 8 の回転軸 8 a に揺動自在に軸支され、先端部に把手 9 が設けられた、箱体 2 を牽引するための牽引棒 1 0 とを備えたものである。

【 0 0 3 4 】

そして、前記箱体 2 は上部に上端を開放する開口部 1 2 を備え、開口部 1 2 に開口部 1 2 を開閉自在の蓋体 1 3 が設けられ、蓋体 1 3 は、閉じた状態で、箱体 2 の上端前後部に設けた締め付け具 1 4 , 1 4 によって締め付け自在に構成されている。尚、箱体 2 には必要に応じて断熱処理を施しても良い。

【 0 0 3 5 】

又、前記突出部 6 の前部に牽引棒 1 0 を挾持して係止する係止体 1 5 が設けられ、牽引棒 1 0 は、係止体 1 5 に係止することにより保持されるように構成されている。尚、前記係止体 1 5 は回転体 7 の前部に設けられても良い。

【 0 0 3 6 】

更に、前記ソリ 3 の底面には、図 2 に示す如く、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条 1 1 , 1 1 ... が設けられている。尚、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 が正常に起立状態の時（倒れていない時）、複数の横滑り防止用突条 1 1 , 1 1 ... はその下端が、前記左右後輪及び前輪の下端よりも所定高さ上方に位置するように配置される。

【 0 0 3 7 】

更に又、図 3 に示す如く、前記牽引棒 1 0 の基端部には、前輪 8 の回転軸 8 a の両端部に揺動自在に軸支される支持棒 1 6 が設けられ、支持棒 1 6 は、前輪 8 の回転軸 8 a から更に前輪 8 の外周部を超えて延設された下端部 1 7 が形成され、牽引棒 1 0 が起立状態で、係止体 1 5 に係止されて保持される時、下端部 1 7 が前輪 8 の下に入り接地或いは着床し、前輪 8 を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されている。

【 0 0 3 8 】

而して、次に、前記ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 の使用方法について説明する。

先ず、図 3 に示すように、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 の牽引棒 1 0 を略垂直状態に起立させて前記係止体 1 5 に係止させ、前輪 8 を浮かした状態で牽引棒 1 0 の

10

20

30

40

50

下端部 17 を着地させ、又は、着床させてソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 を停止状態に維持させる。

【0039】

この状態で、締め付け具 14, 14 を外して蓋体 13 を外し、箱体 2 の開口部 12 を開口させた状態で、箱体 2 の中に買物を収納する。

買物を収納し終わったら、蓋体 13 を被せ、締め付け具 14, 14 で締め付ける。

そして、前記牽引棒 10 を図 3 に於いて時計回りに回転させて前記下端部 17 を着地、又は、着床状態から外し、前輪 8 を着地、又は、着床させる。

その状態で、把手 9 を把持して牽引すれば、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 は牽引される。

10

【0040】

ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 が牽引される時、積雪道路以外では、前輪 8 と左右後輪 4, 4 が着地、又は、着床状態で回転してソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 は走行する。

積雪道路の場合は、前輪 8 と左右後輪 4, 4 が積雪中に若干めり込むが、ソリ 3 が積雪上に載置されることにより、ソリ 3 が積雪上を滑走し、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 はソリ 3 によって積雪上を滑走する。

【0041】

再び、ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 を停止させ、停止状態を維持させるときは、図 3 に示す状態に戻せば良い。

20

【0042】

尚、前記ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 は、ソリと三輪車とを組み合わせものであるが、これに代えてソリと四輪車とを組み合わせたものとすることも可能である。

又、前記ソリを用いた車輪付きショッピングカー 1 に於いて、前記前輪 8 及び前記牽引棒 10 の取付けは前述の方法に限定されるものではなく、他の取付け方法で取付けても良い。例えば、前記前輪 8 及び前記牽引棒 10 を前記箱体 2 の前部に直接取付けることも可能である。

【0043】

図 4 に於いて、31 は、本考案のスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーを示し、スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー 31 は、内部に買物を収納できる箱体 32 と、箱体 32 を載置自在のスノーボード 33 と、スノーボード 33 の後部左右底部に設けた左右後輪 34, 34 と、スノーボード 33 の前部鐳状突出部 36 に下方向に延びて回転自在に設けた回転体 37 と、回転体 37 の下部に回転自在に設けた前輪 38 と、基端部が前輪 38 の回転軸 38a に揺動自在に軸支され、先端部に把手 39 が設けられた、スノーボード 2 を牽引するための牽引棒 40 とを備えている。

30

【0044】

そして、前記箱体 32 は上部に上端を開放する開口部 41 を備えている。

図示は省略するが、前記ソリを用いた車輪付きショッピングカー（図 1 に於いて 1）と同様に、前記開口部 41 に開口部 41 を開閉自在の蓋体が設けられても良く、蓋体は、箱体 32 の上端前後部に設けた締め付け具によって締め付け自在に構成されても良い。

40

【0045】

又、前記前部鐳状突出部 36 の前部に牽引棒 40 を挾持して係止する係止体 42 が設けられ、牽引棒 40 は、係止体 42 に係止することにより保持されるように構成されている。尚、前記係止体 42 は回転体 37 の前部に設けられても良い。

【0046】

更に、前記スノーボード 33 の底面には、図示は省略するが、前後方向に延びる複数の横滑り防止用突条がスノーボード 33 の成型時に設けられている。

【0047】

更に又、前記牽引棒 40 の基端部に、前輪 38 の回転軸 38a の両端部に揺動自在に軸支される支持棒 44 が設けられ、支持棒 44 は、前輪 38 の回転軸 38a から更に前輪 8

50

の外周部を超えて延設された下端部 4 5 が形成され、牽引棒 4 0 が起立状態となり、係止体 4 2 に係止されて保持される時、下端部 4 5 が前輪 3 8 の下に入り着地又は着床し、前輪 3 8 を浮かせてストッパー機能を発揮するように構成されている。

【 0 0 4 8 】

前記スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー 3 1 の使用方法については、スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー 3 1 が、箱体 3 2 をスノーボード 3 3 に載置すること以外、前記ソリを用いた車輪付きショッピングカー（図 1 に於いて 1）の使用方法とほぼ同様であるのでその説明は省略する。

【 0 0 4 9 】

尚、前記スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー 3 1 は、箱体 3 2 を載置させない状態で、スノーボード 3 3 に直接物品等を載せて使用することも可能である。

又、前記スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー 3 1 に於いて、前記前輪 3 8 及び前記牽引棒 4 0 の取付けは前述の方法に限定されるものではなく、他の取付け方法で取付けても良い。例えば、前記前輪 3 8 及び前記牽引棒 4 0 を前記スノーボード 3 3 の前部に直接取付けることも可能である。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 5 0 】

本考案のソリを用いた車輪付きショッピングカー又はスノーボードを用いた車輪付きショッピングカーは、雪道や、雪の積もっていない道路、屋内外通路等を何れも円滑に走行でき、積雪時のショッピング、特に、降雪地帯の冬期間のショッピングに利用でき、利便性が高い。

【 符号の説明 】

【 0 0 5 1 】

- 1 ソリを用いた車輪付きショッピングカー
- 2 , 3 2 箱体
- 3 ソリ
- 4 , 3 4 後輪
- 6 突出部
- 7 , 3 7 回転体
- 8 , 3 8 前輪
- 8 a , 3 8 a 回転軸
- 9 , 3 9 把手
- 1 0 , 4 0 牽引棒
- 1 1 横滑り防止用突条
- 1 2 , 4 1 開口部
- 1 3 蓋体
- 1 5 , 4 2 係止体
- 1 6 , 4 4 支持枠
- 1 7 , 4 5 下端部
- 3 1 スノーボードを用いた車輪付きショッピングカー
- 3 3 スノーボード
- 3 6 前部鉤状突出部

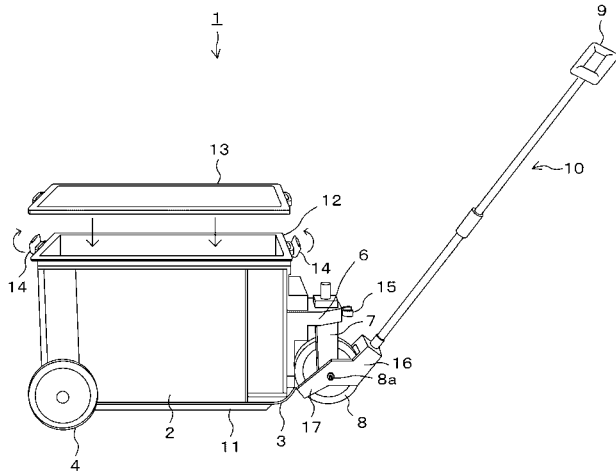
10

20

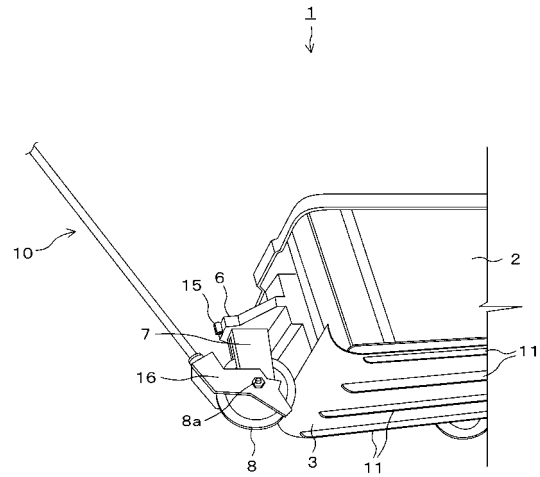
30

40

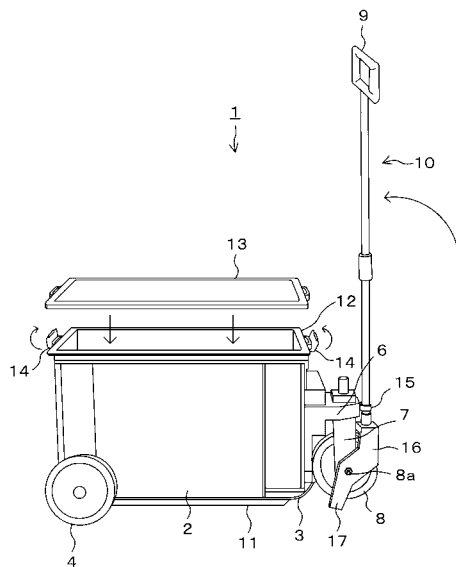
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

